

テーマ 戦後80年を迎えて考えたこと

題名 平和への思いを繋げるために

鹿沼市立北犬飼中学校 (氏名) 谷中 眞大



今年、日本は終戦から80年を迎えました。

僕たちが生まれるずっと前の出来事ですが、原子爆弾の被爆者のお話を聞き、改めて平和について深く考えるようになりました。

日本は戦後80年間、戦争を経験していません。これは先人たちの努力と、平和を願う強い思いがあったからこそだと思います。しかし、世界では今も紛争が絶えず、多くの人々が苦しんでいます。平和な社会を維持していくためには、僕たち一人ひとりが平和の大切さを心に刻み、行動することが不可欠です。

では、私たちにできることは何でしょうか。まず、過去の歴史を正しく学び、戦争の悲惨さを知ることが大切です。そして、異なる文化や価値観を持つ人々を理解し、尊重する姿勢を持つことが重要だと考えます。身近なところでは、友達とのケンカをなくしたり、困っている人に手を差し伸べたりすることから始められます。

未来を担う僕たち一人ひとりが、平和への意識を高め、行動することで、戦争のない世界を実現できると信じています。数少なくなってしまった戦争経験者の方々の思いを受け継ぎ、平和な社会を未来へと繋げていくために、僕自身も努力していきたいと思います。